

特別展 初代 志野宗信没後五百年記念

香道志野流の道統



2023年3月4日〔土〕～5月31日〔水〕

一部展示替えあり

開館時間—午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日—毎週月曜日（ただし、5月29日は開館）

入館料—一般：1500円 学生：1300円

主催—細見美術館 一般社団法人志野流香道松隠会 京都新聞

後援—志野流香道家元松隠軒 京都市教育委員会 京都府 国際交流基金京都支部

NHK京都放送局

協力—負野薫玉堂 京都鳩居堂 松栄堂 山田松香木店

会場—細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町613 TEL 075・752・5555

<http://www.cimuseum.or.jp>

急激な状況の変化により、止むを得ず会期・営業日時等を変更する場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。

Special Exhibition

The 500th Memorial Service of the Founder Sōshin Shino

— KODO TRADITION OF SHINO-RYU —



上／右から、初代志野宗信像（部分）、志野流香道大系図、
扇面火取香炉、志野袋花結び（桜花）、志野流伝家木（加藤）
源氏香園木、撮影：小笠原敏孝（すべて志野流香道松隠軒蔵）
家元後嗣：枝軒宗志 撮影：瀬尾浩司

香道 志野流の道統

『日本書記』によると、日本の香文化の幕開けは、推古天皇三(五九五)年四月、香木が淡路島に漂着したことに始まります。

香木は、仏教という宗教儀礼の中で重用され、やがて平安時代、遣唐使の廃止による国風文化の勃興に伴い、中

国とは別の日本独自の「香の道」の歩みが始まります。香は和歌とともに、貴族たちが自らを表現する重要な手段となりました。

そして、室町時代中期、応仁の乱後、東山慈照寺(銀閣)に於いて、足利八代將軍義政の同朋衆志野宗信(二四四三〜一五二三)の手によって香道の基

礎が作られました。以降、志野流は五百年以上にわたり、現家元二十代幽光斎宗玄まで連綿と継承されています。

本展は、初代志野宗信の五百回遠忌を記念して、貴重な名香と香りにまつわる美術工芸品の数々を展覧し、多様な日本文化の結晶ともいべき「香道」と、志野流の歴代の系譜を紹介するものです。



名香「蘭香待」 志野流香道松隠軒蔵

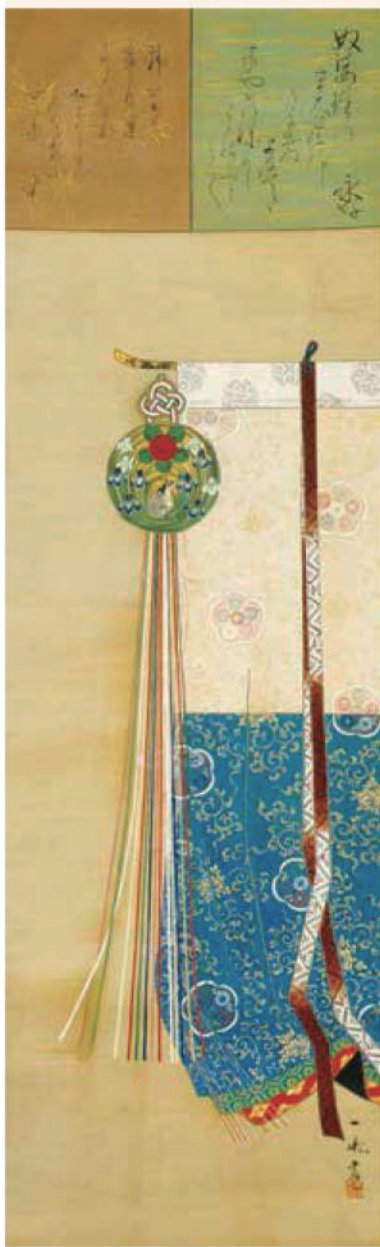
Special Exhibition
The 500th Memorial Service of the Founder Sōshin Shino
— KODO TRADITION OF SHINO-RYU —



門人帳 享和3年(1803) 志野流香道松隠軒蔵



定家詠月次花鳥詩巻重観箱 江戸前期 細見美術館蔵



薬玉園 沖一織筆 江戸後期 細見美術館蔵



香十徳 15代開斎宗意筆 志野流香道松隠軒蔵



- ・市バス「東山二条・岡崎公園口」下車、東へ徒歩約3分
- ・市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、徒歩約5分
- ・地下鉄東西線「東山」駅下車、徒歩約10分

ご来場には公共交通機関をご利用ください。

細見美術館

京都市左京区岡崎最勝寺町6-3
TEL 075-752-5555
<http://www.emuseum.or.jp>



◆関連イベント ※詳しくはホームページをご覧ください

茶室 古香庵 特別展示

日時：3月4日(土)、5日(日)
午前10時30分～午後4時30分
※入館シールをご提示ください

若宗匠による間香体験会

日時：3月11日(土) ①午後1時～2時30分 ②午後3時～4時30分
定員：各席15名 参加費：5,000円(展示観覧料含む)
※事前申込制 以降の体験会については随時ホームページでお知らせいたします



お申込み
フォーム

次回展予告 **琳派23 琳派の扇絵と涼の美** 会期：2023年6月10日(土)～8月20日(日) 2023年 細見美術館は開館25周年を迎えます

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご入館および施設のご利用にあたってはマスクをご着用ください。また、急激な状況の変化により、止むを得ず会期・営業日時等を変更する場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。